

平成 27 年 11 月 5 日 (木)

課題研究巡回展示会



11月2日(月)から13日(金)まで、県内理数科設置校及びSSH校の平成26年度課題研究発表作品のポスター展示会が本校新校舎1階のラウンジで行われています。1年理数科では来年度の課題研究の研究テーマについての発掘を始め、今日はその一環としてラウンジでの授業となりました。課題研究テーマ発掘に対する生徒たちの発想の柔軟性と行動力は素晴らしいものがあります。21世紀の成熟した国際社会で、どんな能力が求められているのかというと、汎用的な能力であると言われております。具体的には、①コミュニケーション能力、聞く力、聞き出す力。②粘り強さ。③自ら課題を発見し、解決する力。④変化や未知な事柄に対応する力。⑤協調性。⑥論理的思考力。⑦段取りを組んで取り組む力、などです。これらの能力を有した人材は国際的に活躍している企業が欲しい人材と同じです。これらの能力を育てるのは課題研究が適していると言われており、コミュニケーション能力はポスターセッションで様々な相手に話すことで養われます。粘り強さは地道な研究で培われます。また、協調性、論理的思考力も他者と協力しながらのグループ研究で、段取りを組んで取り組む力もやはり課題研究で培われますし、変化や未知な事柄に対応する力も課題研究で培われます。これからの時代、ますます課題研究が大切になっていくと思われます。この展示会は、本校の次は屋代高校で行われます。

